

「子供の日」を前に

現代男性の考える男の子観、女の子観

――従来と変わらない男の子らしさ、女の子らしさ

要約

1. 「男の子が欲しい理由」は「たのもしい」「家名や墓を守れる」から
「女の子」は「やさしい」「かわいい」から！
2. 「しつけ」で大切な点
「女の子」だけに「きちんとした言葉遣いで話す」と「家事の手伝い」
3. 受けさせたい教育レベル
「男の子」は「本人の意志に任せる」か「大学・大学院」
「女の子」には「本人の意志に任せる」がトップ
4. 子供たちを「働かせたい職場」のイメージ
「男の子」には「才能が活かせる」職場を、
「女の子」には「気持ちのよい人が多い」職場を！

註レポート「年齢別に見た男性の意識と行動調査 '92」より

1993/04/20

ポラ文化研究所

問合せ先：村澤・高谷

はじめに

仕事柄、女性の編集者によく会う。なかなかおしゃれな方が多いので、つい「そのショートなヘアスタイル、ステキですね」などと、内面に感じる照れを隠しながら、口に出してしまう。そうすると、「実は男性の同僚から、『髪、伸ばしたら。長い方が似合うよ』って言われるんですよ」という発言が返ってくるのが一人二人でなかった。

昨年11月に総理府が実施した「男女平等に関する世論調査」での、「男性の方が優遇されている」と感じる比率は男性より高く、男女の地位の平等に関して男女間の認識で開きがある、という結果は、「男社会への女性の不満」とも取れる。

冒頭の例ではないが、男性側からのおせっかいやおしつけが、しばしば女性にとっては不快感を伴うことは事実であろう。そこで、昨年実施した「年齢別に見た男性の意識と行動調査 '92」(ポラ文化研究所：高校生から65歳までの男性1050名が対象)より、親が期待する子供像の男女差について、4種類のデータを抽出して、現代男性のもつ子供像を考えてみた。

目的：「年齢別に見た男性の意識と行動調査 '92」より、「男の子が欲しい理由」と「女の子が欲しい理由」、「しつけで大切な点」、「受けさせたい教育」、子供たちを「働かせたい職場」のイメージの4点についての回答を抽出して、「男の子」と「女の子」に対する意識の違いを明確にする。

「年齢別に見た男性の意識と行動 '92」

調査対象：東京駅を中心とする半径30km圏内に居住する
16歳から65歳までの男性 1050人

調査対象者抽出法：エリアサンプリング法

調査方法：個別訪問面接聴取法および留置法

調査期間：1992年6月19日～7月10日

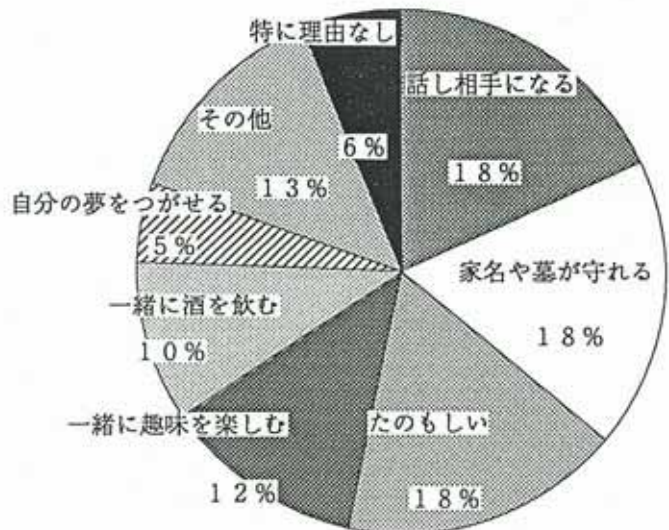
1. 「男の子が欲しい理由」と「女の子が欲しい理由」

「男の子」は「たのしい」「家名や墓を守れる」から、
「女の子」は「やさしい」「かわいい」から！

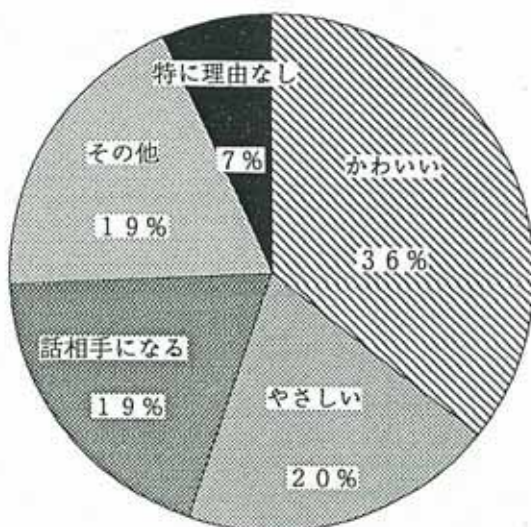
まず、「男の子が欲しい理由」と「女の子が欲しい理由」を一つずつ回答してもらっている。結果は下のグラフとなるが、「男の子」の場合は「話相手になる」と「家名や墓を守れる」がそれぞれ18%で1位。続いて「頼もしい」が17%で、「一緒に楽しむ」「一緒に酒を飲む」が12%、10%と続く。

一方、「女の子」の場合はまったく違った様相を呈す。第1位が「かわいい」で36%。「やさしい」「話相手になる」が20%、19%と、この3項目で全体の4分の3を占める。共通する項目を除くと、男性にとって「男の子」は「家名や墓を守れる」「頼もしい」が第一で、「女の子」はまず「かわいい」でつぎに「やさしい」となる。「男の子」に対する期待と「女の子」に対する期待が生まれる以前から異なることがわかる。

男の子が欲しい理由(SA)



女の子が欲しい理由(SA)

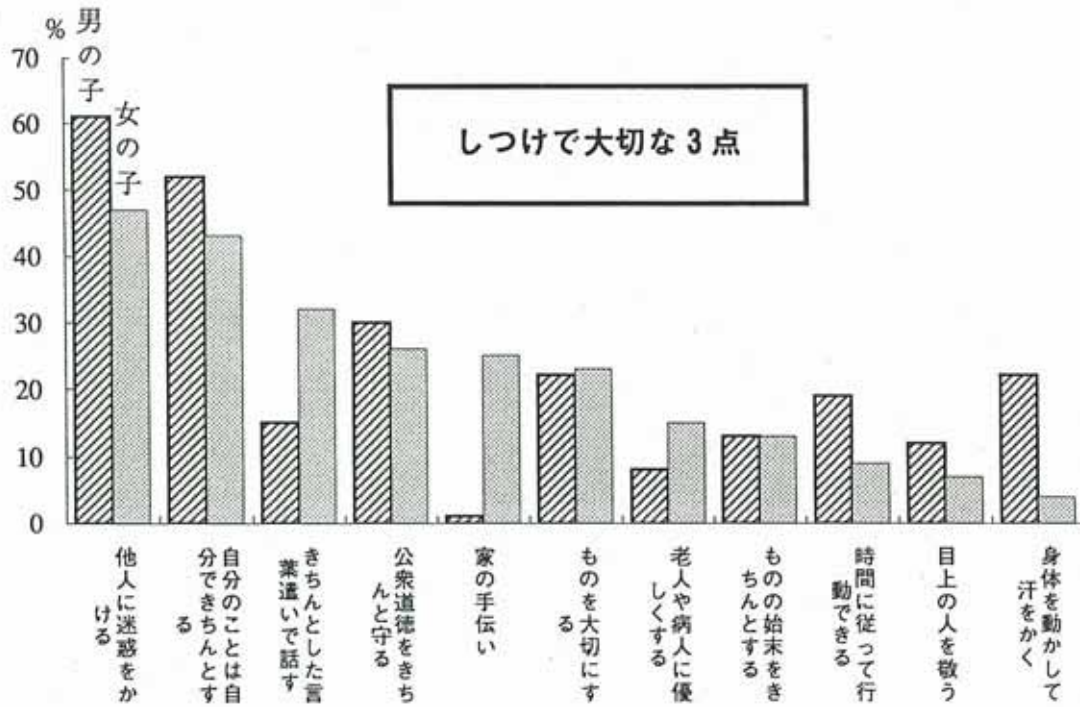


SA: [シングル・アンスー]の略

2. 「しつけ」で大切な点

「女の子」だけに「きちんとした言葉遣いで話す」と「家事の手伝い」

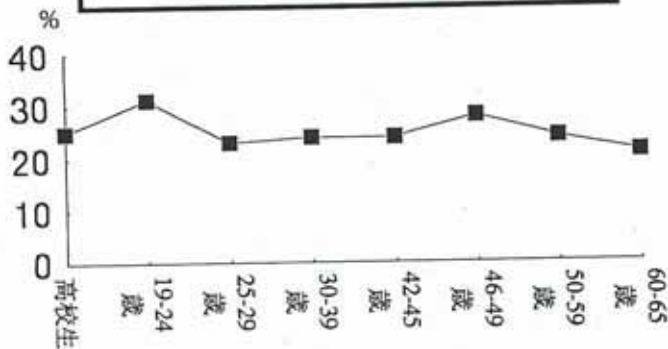
次に生まれ育っていく過程での「しつけ」について「最も大切な3点」を聞いている。下のグラフに男女の結果を示したが、5位までを見てみると、「男の子」では「他人に迷惑をかけない」61%、「自分のことは自分でキチンとする」52%、「公衆道徳をキチンと守る」30%、「ものを大切にす」22%、「身体を動かして汗をかく」22%、の順となる。



それに対して「女の子」では、「他人に迷惑をかけない」47%、「自分のことは自分でキチンとする」43%、「きちんとした言葉遣いで話す」32%、「公衆道徳をキチンと守る」26%、「家の手伝い」25%、

となる。「他人に迷惑をかけない」「自分のことは自分でキチンとする」「公衆道徳をキチンと守る」については男女に共通しながら、「男の子」では「ものを大切にす」と「身体を動かして汗をかく」が、「女の子」では「きちんとした言葉遣いで話す」「家の手伝い」が出てくる点異なる。特に、「身体を動かして汗をかく」は「女の子」では4%、逆に「きちんとした言葉遣いで話す」「家の手伝い」は「男の子」ではそれぞれ15%、1%と低く、従来の男女像を期待していることがわかる。しかも年齢にほとんど関係なく、このように回答している結果は成長過程でも男女の性役割が明確に違って育てられることを意味しよう。

「女の子」のしつけで「家の手伝い」を選んだ男性の年齢変化



3. 受けさせたい教育レベル

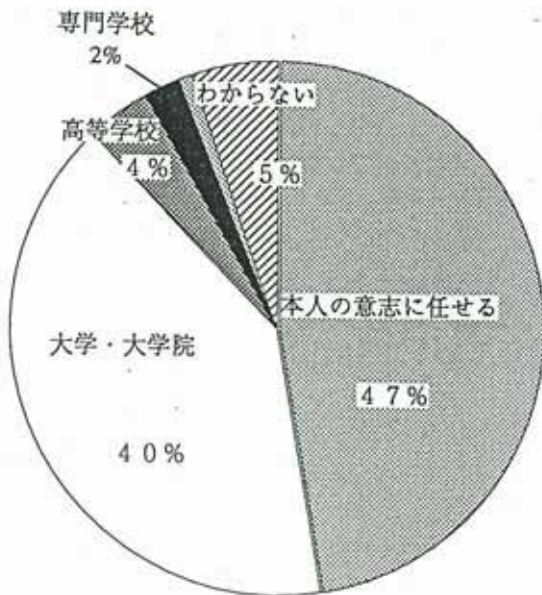
「男の子」には「本人の意志に任せる」か「大学・大学院」
 「女の子」には「本人の意志に任せる」

受けさせたい教育レベルについて「本人の意志に任せる」を入れて聞いてみた。

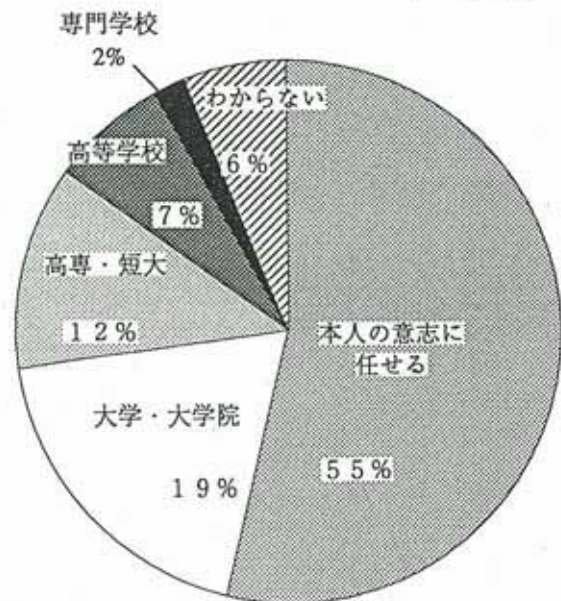
「男の子」は「本人の意志に任せる」が1位で47%、続いて「大学・大学院」が40%となる。この質問に関しては3年前の同じ調査では、逆に「大学・大学院」が1位で47%、「任せる」が45%であった。一方、「女の子」では「本人の意志に任せる」が断然トップで54%、第2位はずっと下がって19%の「大学・大学院」、「高専・短大」の12%、「高等学校」の7%と続く。

全年齢では、「男の子」の方が高学歴を望み、「女の子」には「本人の意志任せ」が半数以上で、「大学・大学院」をはっきり望むものは「男の子」の半分以下となる。

受けさせたい教育レベル(男の子)



受けさせたい教育レベル(女の子)



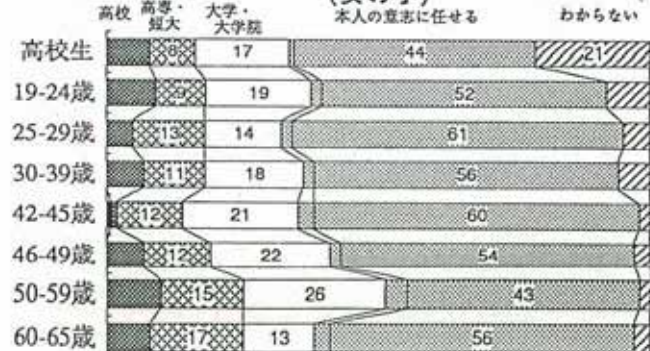
年齢別に見ると、「男の子」では35歳以上の既婚者が「大学・大学院」を第一とするのに対して、30代以下の未婚と34歳以下の既婚者では「本人の意志に任せる」が第一となる。

「女の子」に対しては、「中学校」「高等学校」の比率は全年齢で20%前後とあまり変化ない。「大学・大学院」を受けさせたい人は、30代の未婚と34歳以下では、「学生」(19-24歳)の28%を除いて平均以下であるが、それ以上では60代を除いて平均より高くなる。50代と60代とでは「中学校」「高等学校」の比率は同じだが、「大学・大学院」は26%と13%、「本人の意志に任せる」は43%と56%と大きな違いを見せている。その理由は本調査からは明確ではない。

年齢別に見た受けさせたい教育レベル (男の子)



年齢別に見た受けさせたい教育レベル (女の子)



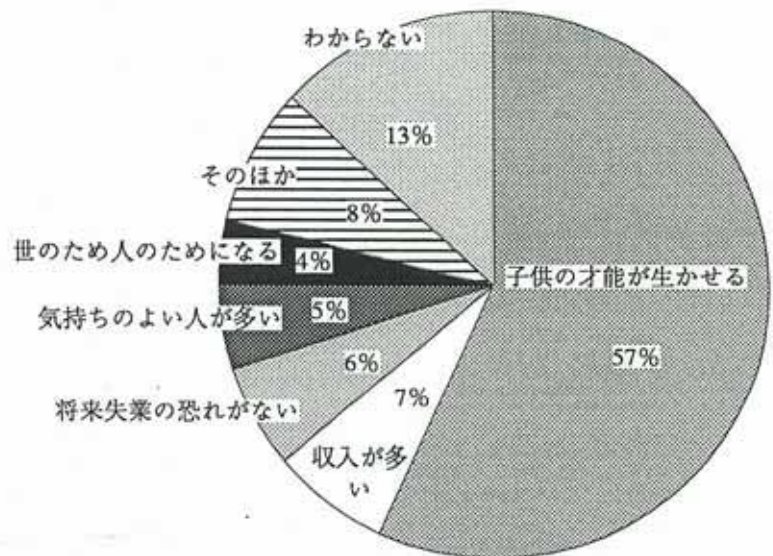
4. 子供たちを「働かせたい職場」のイメージ

「男の子」には「才能が活かせる」職場を、
「女の子」には「気持ちのよい人が多い」職場を！

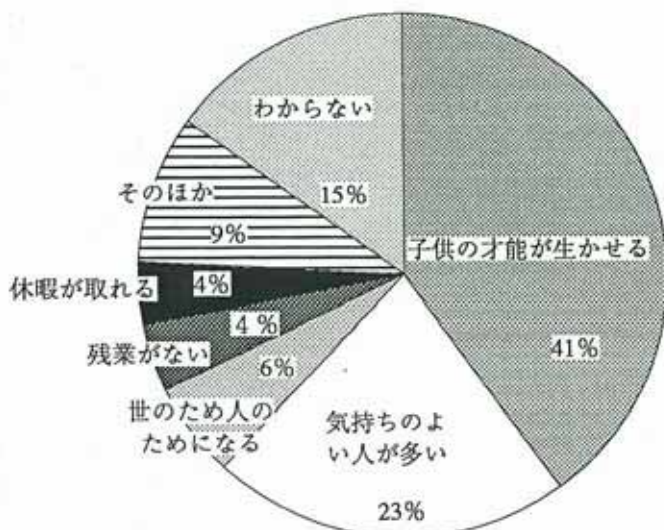
4月は新入社員の季節である。「働かせたい職場」についても次のように男の子と女の子で差が見られる。

「男の子」に対しては、「子供の才能が活かせる」が57%で1位で、半数以上を占めるのに対して、「女の子」では「子供の才能が活かせる」は40%と半数以下となり、「男の子」で5%だった「気持ちのよい人が多い」が22%と増える。どうも、「女の子」に対しては、独立してしっかり生きて欲しいというよりは、保護的な感覚となり、人間関係を重視している点が目立つ。

働かせたい職場（男の子）



働かせたい職場（女の子）



5. 考察

以上のように、「欲しい理由」「しつけ」「受けさせたい教育レベル」「働かせたい職場」に対する回答は、「男の子」と「女の子」ではっきりと異なっている。しかも、すでに触れたが、高校生から65歳まで、年代による明確な差は見られない。つまり、調査結果は「男の子」に対するのと「女の子」に対するのとは異なった意識、期待が、年代を超えて共通して、存在することを示している。

このような「男の子像」「女の子像」の形成に、「わんぱくでもいい、たくましく……」というようなコマーシャルを含むTVなどのマスメディアの影響力は無視できない。もちろんメディアを受け入れる社会があることは当然だが、調査結果としては、従来型の男女の性役割が見えてくる。

80年代、女性の意識が変わり、雇用機会均等法が施行されたにもかかわらず、まだまだ不平等は残っている。このことは冒頭でも紹介した総理府の調査結果が示している通りであろう。しかも、成長過程にいる「男の子」「女の子」に対する男性の意識は今回の結果のように大きく異なり、すでに子供のうちから、従来型の性役割が押しつけられているようにもみえる。

もちろん、今回の結果から全体がどうだということには、まだ早計かもしれないが、成長過程における親の意識が影響を与えていることは間違いないだろうし、男性＝父親の役割に大きな問題があるように見える。いずれにせよ、もっと日常的なところから意識が変わらなければ新たな展開がないように思える。

機会があれば今度は女性の立場から調査する予定である。